

第1回宮崎県臨床工学技士施設代表者意見交換会に小川会長と参加して参りました。参加施設は宮崎県の臨床工学技士が所属する約40施設でした。※今回は会員・非会員問わずに福元会長が声掛けをしたとお聞き致しました。

現在、宮崎県臨床工学技士会は正会員約150名、賛助会員15社との報告がありました。その後、小川会長より（公社）大分県臨床工学技士会の現状報告がありました。小川会長からは宮崎県も公益社団法人を目指して欲しいと伝えておりました。



そして引続いて、宮崎県臨床工学技士会の意見交換会が行われました。宮崎県では臨床工学技士の確保が困難であるとの報告がありました。10施設程ですが、今年の春に求人しましたが、来なかったとの報告でした。給与面や処遇についても話し合われておりました。宮崎県には臨床工学技士の大学もあるので大丈夫かと思っておりましたが、宮崎県に残る学生はいないとお聞きしました。今の若者は都会志向が強いので今後、大分県も問題になるのではないかと個人的には感じております。

次に問題になったのが災害対策についてでした。連絡網等についての確認と実際に災害が起きた時の対応について質問がありました。こちらは宮崎県臨床工学技士会として今後の課題であると平田事務局長がお話しておりました。被災施設である小川会長と私にも意見を求められましたので、機械等には問題はありませんが、水の対応が大変であったことをお伝えしました。



福元会長は今後もこの会を継続して行きたいとお考えを述べて意見交換会は終了致しました。